

人権研修展開例

主題名

子どものためと思ったことが…（家庭の中で）

教材名

人権教育資料「わたし・あなた・みんなの人権」：
家庭の中にこんな会話はありますか？・子は親の鏡

主題・教材について

幼児期から豊かな情操や思いやり、生命を大切にする心、善悪の判断など人間形成の基礎をはぐくむうえで家庭教育は最も重要な役割を担っている。

家庭の中での親の何気ない言葉で、子どもの純真な心に偏見や差別のたねをまいてしまうこともある。

そこで、家庭の中でありがちな会話を取り上げ、その言葉の背後にあるさまざまな課題に気付き、親自身の人権感覚を高めるとともに、子どもを認め親自身の考えを表現できる力を培う場として設定する。



ねらい




子どもの人権感覚をより豊かなものにするために、家庭での会話を通して、親自身が日常生活の中で人権尊重を基本においた態度や行動をとるにはどうしたらよいかを考える機会とする。

- 「子ども自身の姿を見る」など、子どもとのかかわり方が変わる。
- 自分の言葉で語れるようになる。

展開

(120分)



学習者の活動	指導者の活動等
あらかじめ4～5人一組（男女混合）のグループ分けをしておく。	
<p>1 学習テーマやねらい、学習方法等を知る。</p> <p>2 自己紹介する。 (1) 文を作り用紙に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 私は～が得意（好き）です。② 私は～が苦手（きらい）です。③ 私の子どもは～が得意（好き）です。④ 私の子どもは～が苦手（きらい）です。⑤ 子どもには～してほしいと願っています。	<p>○学習テーマやねらい、学習方法等について説明する。</p> <p>○記入しやすいように指導者の文を例示する。</p>  <p>参考： 人権教育資料「わたし・あなた・みんなの人権」 P.4 私は…</p>